

## 目 次

1. 第2回(平成19年度)総会のご案内
2. マスターズに専用ホームページ開設される
3. マスターズへの入会状況
4. 第3回例会報告 - 高原の家七塚体験記
5. 平成19年度東広島市生涯学習まちづくり出前講座募集始まる
6. マスターズの活動のための企画案を募集

## 広大マスターズ第2回総会のご案内

若葉薫る季節となりました。会員の皆様方ますますご清祥のこと、お慶び申し上げます。

さて、昨年12月に発足しました広島大学マスターズの第2回(平成19年度)総会を、以下の通り開催いたします。新しい年度がはじまり、多事多端の節と拝察いたしますが、万障お繰り合わせの上、ぜひご出席いただくよう切にお願いいたします。

### 記

1. 名称：広島大学マスターズ第2回総会
2. 日時：平成19年5月26日14:00～16:00
3. 場所：広島大学学士会館レセプションホール(2F)
4. 次第：開会の辞
  - 1) 代表幹事挨拶
  - 2) 顧問挨拶
  - 3) 会務報告
    - a) 活動報告
    - b) 会計報告
  - 4) 事業計画
  - 5) 会員のマスターズへの期待と近況報告
  - 6) 講演 西川恭治氏(元理学部)  
「広島大学のこと、小中学生への理科教育のこと、地域のことなど」閉会の辞
5. 会費：1000円(ただし茶菓代として)

1. 現在未加入の方であっても、会場で入会受付いたしますので、ご遠慮なく出席してください。またそのような方がいらっしゃれば、ぜひお誘いください。
2. 会場の準備の都合上、ご出欠の返事を下記アドレスのいずれか宛にしてください。  
E-MAIL [masters@hiroshima-u.ac.jp](mailto:masters@hiroshima-u.ac.jp) あるいは  
[sec-masters@phoenix.hirodai.jp](mailto:sec-masters@phoenix.hirodai.jp)  
FAX 082-493-7981(広大マスターズ事務局)  
TEL 082-422-5815(代表幹事金田宅、留守電機能あり)
3. 広島大学学士会館の場所は、よくご存知だと思いますが、広島大学構内の中央にありますサタケメモリアルホールに隣接する建物です。バスでいらっしゃる方は広大中央口で下車されるのが便利です。

## マスターズに専用ホームページ開設される

4月6日、マスターズのWebサイトは引越しました。これまでは広島大学の同窓会のページの中にサイトを貼り付けてまいりましたが、このたび専用のURLを開設しましたのでお知らせします。リンクしてご確認ください。 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

今後、フットワークを軽くして、その都度外部からもマスターズに容易にアプローチできるようになり、マスターズはいよいよ外に向かって開かれた組織になります。

またメールアドレスも、 [@hiroshima-u.ac.jp](mailto:@hiroshima-u.ac.jp) をもつアドレスに変わりました。ひじょうに覚えやすく、身軽になりました。ご遠慮なく [masters@hiroshima-u.ac.jp](mailto:masters@hiroshima-u.ac.jp) へ、いろいろな情報をご提供ください。

## マスターズへの入会状況

広大マスターズは、昨年12月の設立総会時に、顧問2名、正会員45名、協力会員5名、計52名で出発いたしました。その後2名（平成17年度以前の退職者）の方が加入されました。今後とも少しずつ加入者が増えることを期待しています。随時入会受け付けています。

現在、平成19年3月末に定年退職された広島大学教職員で、東広島市在住の方の加入を積極的に募集しています。既に3名の方の入会申し込みがありました。以上正会員50名です（5月6日現在）

3月ご定年の方は、大学での激務から解放され、ほっと一息つかれておられる頃とは存じますが、身体をなまらせないためにも、また旧交をひきつづきあたためるためにも、ぜひご入会ください。また会員の方の周辺にマスターズの有資格者がおられましたら、入会をぜひすすめてください。

広島大学は地域貢献を教育・研究と並ぶ第3の矢として位置づけ、東広島市は生涯学習日本一を目指しています。わがマスターズへの期待はひじょうに大きいところであります。

マスターズが広大教職員OBを網羅する組織となることによって、広島大学を地元で支えるもっとも信頼できる集団となり、東広島市からも地域おこしの応援を依頼してくる、オンリーワンの知的集団となります。ひとりでも多くの方の入会を期待しています。

## 広島大学マスターズ第3回例会報告

### - ミニボランティアと山菜採り・野外料理の体験 -

日時：平成19年4月21～22日（土・日）14:00～

場所：[高原の家七塚] NPO法人 自然体験活動研究センター

西村清巳先生（元教育学部）は広島県立七塚原青年の家の諸設備を一切引き受け、新たにNPO法人高原の家七塚を設立して、4年目を迎えられる。この間ボランティア精神に徹し、小中学生の自然学習の研修活動をはじめ、地域に根付いたさまざまなユニークな活動を続けられ、将来の独立採算制の経営を目指しておられる。

本会設立総会でも、西村先生からその活動の一端をご紹介いただいたところであるが、本会の今後の活動への指南を受けるつもりで、第3回例会を企画した。

当日の参加者は、6名（予約者は10名であったが、別に所用ができ4名が欠席）。11時半、西条インター近くに集合、全員山を歩ける服装であった。2台の車に分乗して庄原市に到着、途中のコンビニで昼食の弁当を買い、広島県立大学の池の前で昼食後午後2時に「高原の家七塚」に到着した。

最初に、西村先生に煎れていただいたコーヒーを飲みながら、施設の説明と今後の予定を確認した。部屋割り後に、施設の見学と野外活動に出発した。[高原の家七塚]は約100名の宿泊施設と体育館、食堂（兼研修室）等を備えた立派な施設で、豊かな緑に囲まれた静かで快適な環境であった。

野外活動では、西村先生から、山野草や樹木の説明を受けながら山菜の採取を行った。当日採取したのは、筍、椎茸、ヤマウド、ワラビ、ゼンマイ、コシアブラ、タラ、リョウビ、ノビル、アケビ、ワサビ、三つ葉などで、夕食の材料を確保した。小休止後に、ブラックベリー、ラズベリー、ブルーベリーなどの苗木の植樹を行った。

休憩後、西村先生の指導で山菜の下ごしらえを行い、金田先生が見事な腕前で山菜の天ぷらを揚げた。夕食は豪華な山菜尽くしで、久しぶりにからだを動かしたせいもあり、食事もお酒も進んだ。食後は、ボランティア活動、自然環境の保護、広大の将来など話が弾み遅くまで歓談した。

翌日は朝から雨が降り、予定していたピーナッツの植え付けができなくなり、施設に常設されているユニカールを楽しんだ。ユニカールとは氷上のカーリングを床の上で簡単に楽しめるように改良したゲームで、全員初めての経験であった。その後、西村先生の指導で竹細工をたのしみ、小刀をつかって竹バシ、竹トンボ、竹のカップなどを製作した。久しぶりに童心に帰ったひとときであった。昼食後、部屋の片づけを行い、帰路に着いた。

今回の企画は一泊二日の日程で、参加しにくい会員もおられたと思いますが、ボランティア活動の難しさの一端を垣間見ることができました。参加者全員が機会を見つけてまた行きたくなるようなすばらしい「高原の森 七塚」でした。今回の例会を暖かくご支援いただいた西村先生と施設の皆様に感謝いたします。

## 平成 19 年度東広島市生涯学習まちづくり出前講座募集始まる

広大マスターズは 1 月 24 日、東広島市生涯学習大学システム運営協議会に加入し、東広島市が平成 15 年度からはじめた「東広島市生涯学習システム」に参加しております。同協議会幹事には、本会幹事（事業担当）の山本義雄先生が就任され、4 月開催の第 1 回協議会に出席されました。

このたび 20 参加団体（広大マスターズをはじめ、東広島市、東広島市教育委員会、ひろしま国際センター、東広島市観光協会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、エリザベト音大、東広島商工会議所、広島テクノプラザ、JICA 中国国際センター、東広島市教育文化振興事業団、東広島市社会福祉協議会、広島県立身体障害者リハビリセンター、スポーツ交流センター等）が、平成 19 年度用に 81 種目の出前講座メニューをもちより、その一覧が発表されました。本会からは、7 種目のメニューを提供しています。

出前講座一覧と募集要項、応募用紙は、東広島市役所とその関係機関および公民館等の窓口にかけています。

出前講座は、市内に在住、在勤または在学する市民グループ（概ね 10 名以上で構成される。）を対象とし、「市民の学習を支援し、市民参加によるまちづくりを推進することを目的」（「生涯学習まちづくり出前講座」実施要綱第 1 条より）とする事業です。交通費、ときに資料代は実費負担することがありますが、原則無料です。提供されたメニューに、希望者が応募して講座は成立いたします。

会員の皆様も奮ってご利用ください。また本会提供のメニューの宣伝もよろしく願います。

## マスターズの活動のための企画案を募集

マスターズ事務局では、本会設立以来、機関紙「広大マスターズ通信」、「HMポスト」等を発行し、会員間の情報交換の場の確立に力を入れてきました。また専用の URL を開設し、いよいよ外部に開かれた運動体に成長してゆくことができます。

東広島市も、マスターズの活動に期待して、平成 19 年度には、70 万円の予算を組んでいます。市幹部は、「東広島市を生涯学習日本一にしたい。そのためにマスターズの活動がキーになる」と言っています。ただし、実際にどのような活動ができるかは、目下のところ未知数で、試行期間として予算額が決定されたと聞いています。この 1 年間はマスターズにとって正念場だということになります。

事務局においても、出前講座、各種主催講座を企画したり、地域おこしにつながる地元との協

同行動を模索したり、さまざまな活動の可能性を模索しています。

だが事務局レベルでは気づかない多彩な企画もあるはずです。会員の方から、企画を募集します。いただいた提案を活かす方向で、幹事会で検討し、ぜひかたちにしていきたいと考えています。

おことわり

本号は既会員の方だけでなく、これからぜひ入会していただきたい方々にもお送りしております。